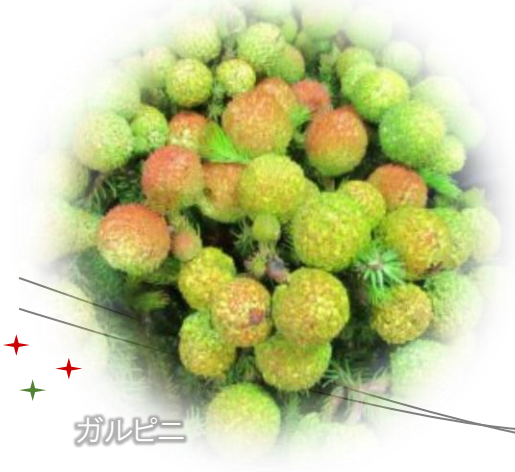
品質カイゼン室の花のソコが知りたい！

ネイティブフラワー編

ネイティブフラワーとは、南アフリカやオーストラリアなど南半球特有の花のことです。
種類は様々で、エキゾチックなものやインパクトのあるものなど独特な雰囲気をもつものがたくさんあります。
今回は「バーゼリア」を中心とした、クリスマスにもぴったりなネイティブフラワーに注目していきます！

バーゼリア　*Berzelia*



ブルニア科バーゼリア属
原産地　南アフリカ

輸入品のみ流通しており、大部分が南アフリカ産です。周年で出荷されていますが、花の特徴からクリスマスのアレンジ用として多く出回ります。

バーゼリアの栽培

バーゼリア栽培のポイント
ある程度の乾燥を好みますが、冬季の雨が栽培には不可欠です。
山間部でよく栽培され、岩や砂が混ざった土を好みます。

夜間は約 0.5℃と寒くなりますが、日中は 32℃ほどの高温になります。バーゼリアはその寒暖差に耐えることのできる強いお花です！

ワイルドな環境で
のびのびと育てられています

日本へ輸出するまで

収穫後はすぐに水揚げを行い、冷蔵トラックで空港へ運ばれます。空港到着後は虫がいないか検品され、日本への輸出に備えて中心部までしっかりと冷やされるため、品質管理はバッチリです！！

季節によって移り変わる姿

バーゼリアは周年で出荷されていますが、季節によって色や大きさが変化することも魅力のひとつです♪

春から夏にかけては
実が小ぶりで緑色

秋から冬にかけては
実が大きく紅葉

自然の状態では、紅葉した後に実が段々ともろくなってはじけ、風によって生殖範囲を広げていきます！

バーゼリアの管理は？

バーゼリアは水揚げもよく、日持ちも約 15 日以上と長持ちするお花です！
ただし、乾燥すると実がぽろぽろと落ちてしまうので注意しましょう。

バーゼリアの品種

バーゼリアにそっくり？
近縁種「ブルニア」
バーゼリアと姿が似ていて、
マットな質感が魅力です。

バーゼリアの他にも、この時期にぴったりなネイティブフラワーはまだまだあります！

リューカデンドロン　*Leucadendron*（実つき）

ヤマモガシ科リュウカデンドロン属
原産地　南アフリカ

南アフリカのケープ地方に自生する低木。秋から冬にかけては実つきのタイプがおすすめです。

水揚げはとても良いことが特徴です。湿気を嫌うため、風通しを良くして保管しましょう。日持ちは約 10 日間です。
実つきのリューカデンドロンはここで紹介しきれないほど種類もたくさんあり、冬のアレンジで大活躍です！

コチア　*Kochia*

アカザ科アイレアナ属
原産地　オーストラリア

雪が降り積もったように見える美しい姿から、クリスマスを始めとする冬のアレンジにぴったり！11～12 月に多く出回ります。

水揚げは普通ですが、水に溶けやすいため浅水にしましょう。葉がぽろぽろと落ちやすい点にも注意が必要です。

「ワイルドフラワー」の別名をもつネイティブフラワー。
ワイルドな環境で育つからこそ、日本までの長い道のりも耐えることができるんですね。
今回は冬におすすめのネイティブフラワーに注目しましたが、
個性的で可愛らしい、魅力たっぷりのネイティブフラワーをぜひお手にとってみてください！

【情報･画像提供】
株式会社　大谷商会様

【参考文献】
宍戸純　長塩由実　著「花屋さんの花材が全てわかる アレンジ図鑑」

（株）大田花き
品質カイゼン室